

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校東京デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
デザイン 専門課程	グラフィックデザイン学科 (2年制)	夜・通信	1710時間	80×2＝160時間	
	イラストレーション学科 (2年制)	夜・通信	1710時間	80×2＝160時間	
	インテリアデザイン学科 (2年制)	夜・通信	1710時間	80×2＝160時間	
	グラフィックデザイン学科 (2年制)	夜・通信	1710時間	80×2＝160時間	
	フィギュアデザイン学科 (2年制)	夜・通信	1710時間	80×2＝160時間	
	マンガ学科 (2年制)	夜・通信	1710時間	80×2＝160時間	
	映像デザイン学科 (2年制)	夜・通信	1710時間	80×2＝160時間	
	プロダクトデザイン学科 (2年制)	夜・通信	1710時間	80×2＝160時間	
	ファッションデザイン学科 (2年制)	夜・通信	1710時間	80×2＝160時間	
	コミックイラスト学科 (2年制)	夜・通信	1710時間	80×2＝160時間	

	デザイン研究 学科 (1年制)	夜・ 通信	870時間	80×1= 80時間	
建築専門課程	建築デザイン 学科 (2年制)	夜・ 通信	1830時間	80×2= 160時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

閲覧形式にて公表

東京デザイナー・アカデミー 本校舎事務局：東京都千代田区神田駿河台 2-11

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校東京デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人 21世紀アカデメイア

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HP掲載の事業報告書8ページに記載。

<https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r5/R5事業活動報告書.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社取締役（現職）	2017.11.15 ～2025.8.4	ガバナンスの強化
非常勤	有限会社代表取締役 （現職）	2024.6.28 ～2025.8.4	ガバナンスの強化
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校東京デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人 21 世紀アカデメイア

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(授業計画について)</p> <p>(グラフィックデザイン学科 昼間部 (2年制)、イラストレーション学科 昼間部 (2年制)、インテリアデザイン学科 昼間部(2年制)、フィギュアデザイン学科 昼間部(2年制)、マンガ学科 昼間部(2年制)、映像デザイン学科 昼間部(2年制)、プロダクトデザイン学科 昼間部(2年制)、ファッションデザイン学科昼間部(2年制)、コミックイラスト学科 昼間部(2年制)、建築デザイン学科 昼間部(2年制)、デザイン研究学科 昼間部(1年制))</p> <p>学校長を中心としたカリキュラム編成チームで現在進行しているカリキュラムの状況確認を定期的に行っています。</p> <p>職業実践専門課程で進めている年2回(8～9月、1～2月)の教育課程編成委員会と連携をとり進めています。</p> <p>学科ごとに進めている外部委員を含めたカリキュラム編成委員会で学園・学校方針、業界の現状と今後の方向性を見据えて検討を進めています。</p> <p>カリキュラムの編成においてはキャリア・サポート・センターによる就職指導計画を含めて行っています。</p> <p>(作成時期について)</p> <p>翌年度の授業計画については、10月頃から案をカリキュラム編成チームにおいて方向性を検討し、学科担当職員と連携して進めています。12月から1月までに作成します。</p> <p>学内の編成チーム及び教育課程編成委員会や、大きな変更がある場合は理事会の承認得て決定されます。</p> <p>(公表方法について)</p> <p>シラバスの公表については本校舎事務局で閲覧可能であり、学生への周知は4月のオリエンテーション時に各学科より公表されます。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>閲覧形式にて公表</p> <p>東京デザイナー・アカデミー本校舎事務局</p> <p>東京都千代田区神田駿河台 2-11</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>「修学成果の評価にかかわる取り組み概要」について 前後期制を採用しており、各期の終了時に実技試験及び筆記試験、レポート提出等により履修科目の評価を実施して、合格教科に対して単位認定を行っています。 学生の成果報告の場として、1年次は9月、2年次は4月に作品発表・展示の機会を設けています。 また、卒業認定に際しては修了制作の評価を加えて総合的に認定しています。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>学則の細目においてGPA (Grade Point Average) を導入し、学内の成績評価として使用しています。GPAは学生の履修した1授業科目あたりの平均成績を指します。当校では、学業優秀者の表彰候補者選出などに活用しています。 学業成績は、授業科目ごとに行う演習・実習課題及び、それらの取り組み方などを総合的に評価されます。当校では各授業の評価100点満点を基準として、60点以上を合格としています。評価点数により100～90をA、89～80をB、79～70をC、69～60をD、59以下をE (不合格) として、成績が通知されています。 各成績はA (4点)、B (3点)、C (2点)、D (1点)、E (0点)、に換算されます。GPAは各学年の在学期間において履修登録した科目の取得GPの総和を在学期間において履修登録した科目の合計科目数にて割り算を行い算出しています。(小数点第3位以下は切り捨て) 成績評価方法については、入学時や学期ごとのオリエンテーションにて学生へ通知しています。学則細目の閲覧公開及びHP公開も予定し準備を進めております。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>閲覧形式にて公表 東京デザイナー・アカデミー本校舎事務局 東京都千代田区神田駿河台 2-11</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

所定の全過程を修了した学生で、卒業規定の基準を満たしている学生について、学
校長が卒業認定を行います。

教科目の取得単位実績が規定単位を満たした学生であること。

デザイン専門技能者として豊かな人格を有し、2年間にわたる学習態度に優れ、意
欲の高い学生であることとしています。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページにて公表

https://www.tdg.ac.jp/common/pdf/tdg_Information.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校東京デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人 21 世紀アカデメイア

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	最新情報を HP にて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r5/R5_貸借対照表.pdf
収支計算書又は損益計算書	最新情報を HP にて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r5/R5_損益計算書.pdf
財産目録	最新情報を HP にて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r5/R5_財産目録.pdf
事業報告書	最新情報を HP にて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r5/R5_事業活動報告書.pdf
監事による監査報告（書）	最新情報を HP にて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r5/R5_監査報告書.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン専門課程	グラフィックデザイン学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1710 単位時間/単位	270 単位時間/単位	1080 単位時間/単位	360 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		184人	59人	11人	24人	35人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>基本教科目および選択教科目を履修します。 「現場実践主義のデザイナー」を育てるカリキュラムとして産学共同を積極的に取り組んで実践経験を積むように取り組んでいます。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>授業の欠席は原則として認められていないので、全出席を前提として課題・レポートの提出及びテストの評価により、A・B・C・D・Eの5段階での評価がつき、D以上の評価を受けた学生はその教科目の単位が認定されます。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>進級への単位規定は設けてありませんが、1年次の取得単位数が著しく不足している場合には、進級にあたり今後の学習の方針・姿勢についてカウンセリングを受け、1年次からの再履修を指導される場合があります。 デザイン専門課程：108単位以上の習得</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>(学費面) 入学時に特待生試験を実施、学内規定A～Eの5段階で評価し、評価A～Dに対して1年次授業料を減免します。評価A：90万円減免、評価B：45万円減免、評価C：10万円減免、評価D：5万円減免となります。 (カウンセリング) 学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
54人 (100%)	2人 (3.7%)	37人 (68.6%)	15人 (27.7%)

<p>(主な就職、業界等)</p> <p>広告全般、Web関連、出版・編集、印刷、イラスト・キャラクター（ゲーム）関連等</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>就職セミナーの実施→応募書類の書き方、就職活動のマナー等のレクチャー、模擬面接、一般常識テスト・適性検査、学内企業説明会</p> <p>個別カウンセリング→応募書類の添削、企業のマッチング、面接練習等</p> <p>業界研究の授業実施</p> <p>上記の内容を進めています。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>色彩士検定等</p> <p>マスキングテープのデザインを毎年採用頂き大手企業で販売、ガラス製品のデザイン提案も進めており墨汁を入れる瓶のデザイン採用や2年ごとに自転車のデザインのリニューアル及びプロモーション広告のデザインなどを手掛けさせて頂いています。</p>
<p>(備考)（任意記載事項）</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
68人	10人	14.7%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>留学生が増加の傾向があり、出席率の関係でビザ問題や日本人は家庭事情により退学につながるケースが増えています。精神的な面や人間関係なども含めて多様であります。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>個別面談を頻繁に行い、学生の状況確認に努めています。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン専門課程	イラストレーション学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1710 単位時間/単位	270 単位時間/単位	1080 単位時間/単位	360 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		199人	79	7人	31人	38人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要） 基本教科目および選択教科目を履修します。 他種類のソフトを修得して画力を向上させるだけにとどまらない幅広い知識と技術が身につくようなカリキュラムを行っています。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要） 授業の欠席は原則として認められていないので、全出席を前提として課題・レポートの提出及びテストの評価により、A・B・C・D・Eの5段階での評価がつき、D以上の評価を受けた学生はその教科目の単位が認定されます。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要） 進級への単位規定は設けてありませんが、1年次の取得単位数が著しく不足している場合には、進級にあたり今後の学習の方針・姿勢についてカウンセリングを受け、1年次からの再履修を指導される場合があります。 デザイン専門課程：108単位以上の習得</p>	
学修支援等	
<p>（概要） （学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定A～Eの5段階で評価し、評価A～Dに対して1年次授業料を減免します。評価A：90万円減免、評価B：45万円減免、評価C：10万円減免、評価D：5万円減免となります。 （カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
96人 (100%)	5人 (5.3%)	58人 (60.4%)	33人 (34.3%)
<p>（主な就職、業界等） デザイナー職、クリエイター職及びイラストレーター。 ゲーム業界、グラフィックデザイン業界、アニメ業界。</p>			

(就職指導内容) 社会人育成指導講座、学内企業説明会、学内企業選考会、個人面談、ポートフォリオ指導などの指導を進めています。
(主な学修成果(資格・検定等)) 色彩士検定 印刷会社と年賀状のイラスト制作やカードゲーム会社と連携してカードゲームイラストを手掛けています。
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
107人	8人	7.5%
(中途退学の主な理由) 精神的な面が原因であったり、入学後も不登校であったりして長期欠席の為に留年や退学に繋がるケースが目立つようになってきています。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 精神面で対人関係に問題を抱えた学生が多く、担任並びに就職指導担当者等と協力して学生の状況確認を頻繁にとるように努めています。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	デザイン専門課程	インテリアデザイン学科	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1710 単位時間/単位	270 単位時間/単位	360 単位時間/単位	1080 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	65人	27人	4人	17人	21人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 基本教科目および選択教科目を履修します。 産学共同、企業連携を深めて現場とのシームレスな実体験の授業運営を進めています。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業の欠席は原則として認められていないので、全出席を前提として課題・レポートの提出及びテストの評価により、A・B・C・D・Eの5段階での評価がつき、D以上の評価を受けた学生はその教科目の単位が認定されます。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級への単位規定は設けてありませんが、1年次の取得単位数が著しく不足している場合には、進級にあたり今後の学習の方針・姿勢についてカウンセリングを受け、1年次からの再履修を指導される場合があります。 デザイン専門課程：108単位以上の習得
学修支援等
（概要） （学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定A～Eの5段階で評価し、評価A～Dに対して1年次授業料を減免します。評価A：90万円減免、評価B：45万円減免、評価C：10万円減免、評価D：5万円減免となります。 （カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
41人 (100%)	5人 (12.2%)	16人 (39%)	20人 (48.8%)
（主な就職、業界等） 住宅内装デザイン会社のデザイナー・施工管理。商業空間・店舗デザイン会社の内装デザイン、施工管理。インテリアショップの提案販売、イベント制作会社の大道具制作等			

<p>(就職指導内容)</p> <p>個別指導が中心。自己の強み発見、履歴書・エントリーシート作成支援、適職求人の紹介と斡旋、面接対策、適宜、企業招致の学内説明会等の指導を行っています。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>照明コンサルタント、インテリアコーディネーター、キッチンスペシャリスト、商業施設士、色彩士検定等</p> <p>ホテル、住宅・住宅展示場、店舗等の現場でインテリアデザインやリノベーションを授業や実習の現場で実践できる環境を有しています。</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46人	5人	10.8%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更による退学者が目立ちます。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学生の状況確認を含めた個別面談を頻繁に実施して学生の学習面、生活面の悩みや問題を確認して個別相談に努めています。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	デザイン専門課程	フィギュアデザイン学科	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1710 単位時間/単位	270 単位時間/単位	660 単位時間/単位	780 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	86人	27人	3人	4人	7人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 基本教科目および選択教科目を履修します。 モデルを用いてのクロッキーや業界で使用している材料を用いて技術を高める授業を実施していきます。3Dソフトや3Dプリンター等の最新機器を取り入れた実践的な授業を進めていきます。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 授業の欠席は原則として認められていないので、全出席を前提として課題・レポートの提出及びテストの評価により、A・B・C・D・Eの5段階での評価がつき、D以上の評価を受けた学生はその教科目の単位が認定されます。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 進級への単位規定は設けてありませんが、1年次の取得単位数が著しく不足している場合には、進級にあたり今後の学習の方針・姿勢についてカウンセリングを受け、1年次からの再履修を指導される場合があります。 デザイン専門課程：108単位以上の習得</p>
学修支援等
<p>（概要） （学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定A～Eの5段階で評価し、評価A～Dに対して1年次授業料を減免します。評価A：90万円減免、評価B：45万円減免、評価C：10万円減免、評価D：5万円減免となります。 （カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	11人 (55%)	9人 (45%)
<p>（主な就職、業界等） フィギュア原型師、トイデザイナー等、商品企画、設計、モデラー、デジタルモデラー、3D CADオペレーター等。</p>			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1年前期：業界研究、職種研究。1年後期：具体的な就職指導準備、説明会等の開催。 2年前期：説明会・見学会の開催。個別面談による対策。2年後期：未内定者対策、ビジネスマナー等の指導を実施しています。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>色彩検定・プロダクトデザイン検定等 検定は全員実施ではなく希望者が受験。 塗装ブース企業と産学協同で作品制作を行い成果物は学外イベント等で発表。</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>進路方向変更を防止するため、入学する際に方向性をしっかり確認し、特に留学生に関して、大学へ進学希望があるのかを入学前把握するようにしています。 金銭面でアルバイトと学業両立が必要な学生に関して、授業内容や課題を個別フォロー、放課後の個別スクーリング等でサポートしています。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	デザイン専門課程	マンガ学科	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1710 単位時間/単位	270 単位時間/単位	540 単位時間/単位	900 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
70人	88人	43人	4人	8人	12人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 基本教科目および選択教科目を履修します。 作家としてデビューすることを目指しており、多数の出版会社と連携して学生の作品を添削機会が多く取れるようなカリキュラムに工夫されています。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業の欠席は原則として認められていないので、全出席を前提として課題・レポートの提出及びテストの評価により、A・B・C・D・Eの5段階での評価がつき、D以上の評価を受けた学生はその教科目の単位が認定されます。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級への単位規定は設けてありませんが、1年次の取得単位数が著しく不足している場合には、進級にあたり今後の学習の方針・姿勢についてカウンセリングを受け、1年次からの再履修を指導される場合があります。 デザイン専門課程：108単位以上の習得
学修支援等
（概要） （学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定A～Eの5段階で評価し、評価A～Dに対して1年次授業料を減免します。評価A：90万円減免、評価B：45万円減免、評価C：10万円減免、評価D：5万円減免となります。 （カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24人 (100%)	2人 (8.3%)	15人 (62.5%)	7人 (29.2%)
（主な就職、業界等） 漫画家、漫画家アシスタント、イラストレーター、DTPオペレーターなど			
（就職指導内容） 就職セミナー（ビジネスマナー、履歴書作成）、出張マンガ編集部、企業セミナーなどの指導を行っています。			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>取得検定資格は特になし</p> <p>産学連携で企業とデジタルマンガ制作を進めて、編集社の編集担当に直接指導を頂く機会を設け、デビューの機会を得ています。</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29 人	5 人	17.2%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>技術面の遅れの理由が多い。精神的な理由で登校できなくなるケースが目立ちます。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>個別面談を定期的を実施し、技術面で出遅れる学生に対して選択授業の中で補習的内容の取り組みを行っています。休業期間に補習授業を実施しています。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	デザイン専門課程	映像デザイン学科	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1710 単位時間/単位	150 単位時間/単位	1380 単位時間/単位	180 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人	198人	36人	9人	45人	54人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 基本教科目および選択教科目を履修します。 技術進歩が非常に速い業界に合わせて企業連携を頻繁に進め、講師において現職の実務経験者を多く講師に招いています。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） 授業の欠席は原則として認められていないので、全出席を前提として課題・レポートの提出及びテストの評価により、A・B・C・D・Eの5段階での評価がつき、D以上の評価を受けた学生はその教科目の単位が認定されます。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 進級への単位規定は設けてありませんが、1年次の取得単位数が著しく不足している場合には、進級にあたり今後の学習の方針・姿勢についてカウンセリングを受け、1年次からの再履修を指導される場合があります。 デザイン専門課程：108単位以上の習得</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要） （学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定A～Eの5段階で評価し、評価A～Dに対して1年次授業料を減免します。評価A：90万円減免、評価B：45万円減免、評価C：10万円減免、評価D：5万円減免となります。 （カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
94人 (100%)	1人 (0.2%)	84人 (89.3%)	9人 (9.6%)
<p>(主な就職、業界等) ゲーム、アニメーション、映画、広告業界。代表的な職種：3DCGモデラー、アニメーター、リガー、エフェクトアーティスト、コンポジター、映画エディター、モーショングラフィックデザイナー、プロダクションマネージャーなど。</p>			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1年前期：業界研究、職種研究。1年後期：具体的な就職指導準備、説明会等の開催。 2年前期：説明会・見学会の開催。個別面談による対策。2年後期：未内定者対策、ビジネスマナー等の指導を実施しています。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>CGクリエイター検定 企業や団体と連携してCM撮影制作や映像制作の現場で実践を体験することが出来ます。</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
104人	6人	5.7%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>求められる技術が多岐にわたるため、技術面で後れてしまい退学に至るケースが多く見られます。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>頻繁な個別面談と学科内で勉強会や補修の対策を講じています。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	デザイン専門課程	プロダクトデザイン学科	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1710 単位時間/単位	210 単位時間/単位	540 単位時間/単位	960 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	80人	19	5人	27人	32人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 基本教科目および選択教科目を履修します。 様々な素材を用いて加工技術を高める授業計画で実施していきます。レーザーカッターや3Dプリンター等の最新機器を取り入れた実践的な授業を進めていきます。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） 授業の欠席は原則として認められていないので、全出席を前提として課題・レポートの提出及びテストの評価により、A・B・C・D・Eの5段階での評価がつき、D以上の評価を受けた学生はその教科目の単位が認定されます。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 進級への単位規定は設けてありませんが、1年次の取得単位数が著しく不足している場合には、進級にあたり今後の学習の方針・姿勢についてカウンセリングを受け、1年次からの再履修を指導される場合があります。 デザイン専門課程：108単位以上の習得</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要） （学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定A～Eの5段階で評価し、評価A～Dに対して1年次授業料を減免します。評価A：90万円減免、評価B：45万円減免、評価C：10万円減免、評価D：5万円減免となります。 （カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (100%)	0人 (0%)	12人 (48%)	9人 (52%)
<p>（主な就職、業界等） プロダクトデザイナー（カーデザイナー、家具デザイナー、雑貨デザイナー、アクセサリデザイナー、玩具デザイナー等）、商品企画、設計、モデラー、デジタルモデラー、CADオペレーター等。</p>			

<p>(就職指導内容)</p> <p>業界研究、企業インターン、適性検査、一般常識、就職セミナー（履歴書、エントリーシートの書き方、面接について、企業の募集スケジュール、内定者セミナー等）個別面談、企業説明会、企業見学会、面接練習等を学科職員と協力して行っています。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>プロダクトデザイン検定等</p> <p>文房具メーカーとの紙製品制作の産学共同やスマートフォン機器のカバー等を製造する企業と産学共同を進めて製品化を行っています。またスマートフォン関連では制作費用はクラウドファンディングを活用して実施しています。</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	3人	12%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更の理由です。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>進路方向変更を防止するため、入学する際に方向性をしっかり確認し、特に留学生に関して、大学へ進学希望があるのかを入学前把握するようにしています。</p> <p>金銭面でアルバイトと学業両立が必要な学生に関して、授業内容や課題を個ロー、放課後の個別スクーリング等でサポートしています。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	デザイン専門課程	ファッションデザイン学科	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1710 単位時間/単位	270 単位時間/単位	1080 単位時間/単位	360 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	36人	6人	3人	11人	14人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 基本教科目および選択教科目を履修します。 ホームページ、SNSの効果的な活用を実践させ、今後の時代に必要とされるデザイナー育成を目指す。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） 授業の欠席は原則として認められていないので、全出席を前提として課題・レポートの提出及びテストの評価により、A・B・C・D・Eの5段階での評価がつき、D以上の評価を受けた学生はその教科目の単位が認定されます。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 進級への単位規定は設けてありませんが、1年次の取得単位数が著しく不足している場合には、進級にあたり今後の学習の方針・姿勢についてカウンセリングを受け、1年次からの再履修を指導される場合があります。 デザイン専門課程：108単位以上の習得</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要） （学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定A～Eの5段階で評価し、評価A～Dに対して1年次授業料を減免します。評価A：90万円減免、評価B：45万円減免、評価C：10万円減免、評価D：5万円減免となります。 （カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	10人 (100%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等） ファッションデザイナー・コスチュームデザイナー・バイヤー・ヘアメイクアーティスト・ネイリスト・アパレルショップ店員など</p>			

<p>(就職指導内容)</p> <p>業界研究、定期性検査、一般常識、就職セミナー（履歴書、エントリーシートの書き方、面接について等）個別面談、企業説明会、企業見学会、面接練習等を学科職員と協力して進めています。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>サービス接遇検定3級、AFT色彩検定3級、ファッションビジネス検定3級、JNCEネイル技能検定1～3級 メイクアップ技能検定</p>
<p>(備考)（任意記載事項）</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	1人	9.1%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>現在中途退学者なしです。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>SNSの活用で個別対応を可能な環境を構築しています。今後面談対応も充実していく方向です。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン専門課程	コミックイラスト学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1710 単位時間/単位	210 単位時間/単位	1320 単位時間/単位	180 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		162人	43人	3人	10人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要） デジタルツールを使用したイラストの表現力と発想力を養う実践的な授業に力を入れており、進路に合わせた選択科目を履修することで即戦力として活躍できる人材を育成する内容となっています。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要） 授業の欠席は原則として認められていないので、全出席を前提として課題・レポートの提出及びテストの評価により、A・B・C・D・Eの5段階での評価がつき、D以上の評価を受けた学生はその教科目の単位が認定されます。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要） 進級への単位規定は設けてありませんが、1年次の取得単位数が著しく不足している場合には、進級にあたり今後の学習の方針・姿勢についてカウンセリングを受け、1年次からの再履修を指導される場合があります。 デザイン専門課程：108単位以上の習得</p>	
学修支援等	
<p>（概要） （学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定A～Eの5段階で評価し、評価A～Dに対して1年次授業料を減免します。評価A：90万円減免、評価B：45万円減免、評価C：10万円減免、評価D：5万円減免となります。 （カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
63人 (100%)	5人 (8%)	34人 (53.9%)	24人 (38.1%)
<p>(主な就職、業界等) コミックイラストレーター・2DCGグラフィッカー・グラフィックデザイナー・挿絵画家・漫画家・キャラクターデザイナー・グッズデザイナーなど</p>			
<p>(就職指導内容) 社会人育成指導講座、学内企業説明会、学内企業選考会、個人面談、ポートフォリオ指導などの指導を進めています。</p>			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>取得検定資格は特になし</p> <p>産学連携で企業とイラストコンペを年2回定期開催しています。イラストレーターのデビューの機会となっています。採用学生は企業から業務委託実績となります。</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72人	3	4.1%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>主に精神面に不安がある学生が退学に至るケースが多い。入学前より既往歴があり、学習環境に馴染めず長期欠席から退学に繋がるケースがある。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>精神面で対人関係に問題を抱えた学生が多く、担任並びにスクールカウンセラーと協力して学生の状況確認を頻繁にとるように努めています。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	デザイン専門課程	デザイン研究学科	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	870 単位時間/単位	90 単位時間/単位	240 単位時間/単位	540 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	14人	9人	1人	10人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 基本教科目および選択教科目を履修します。 複数のアプリケーション技術を修得して幅広い知識と技術が身につくような実践的な授業を進めていきます。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） 授業の欠席は原則として認められていないので、全出席を前提として課題・レポートの提出及びテストの評価により、A・B・C・D・Eの5段階での評価がつき、D以上の評価を受けた学生はその教科目の単位が認定されます。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 卒業認定はデザイン専門課程：36単位以上の習得が必要となります。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要） （学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定A～Eの5段階で評価し、評価A～Dに対して1年次授業料を減免します。評価A：90万円減免、評価B：45万円減免、評価C：10万円減免、評価D：5万円減免となります。 （カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	3人 (60%)	2人 (40%)
<p>（主な就職、業界等） デザイナー職、クリエイター職及びイラストレーター、漫画家。グラフィックデザイン業界、インテリア建築業界、ファッション業界、プロダクト業界、映像業界等。</p>			
<p>（就職指導内容） 企業インターンシップを主とし社会人育成指導講座、学内企業説明会、学内企業選考会、個人面談、ポートフォリオ指導などの指導を進めています。</p>			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等)) 取得検定資格は特になし 産学連携で企業と連携して実践的な取り組みを進めます。</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
<p>(中途退学の主な理由) 現在中途退学者なしです。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談を頻繁に行い、学生の状況確認に努めています。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		建築 専門課程	建築デザイン学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1830 単位時間/単位	750 単位時間 /単位	360 単位時間 /単位	720 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		47人	25人	3人	17人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 基本教科目および選択教科目を履修します。 建築士の資格を取得できるカリキュラム構成となっています。産学協同を多く推進できるよう企業連携を進めています。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 授業の欠席は原則として認められていないので、全出席を前提として課題・レポートの提出及びテストの評価により、A・B・C・D・Eの5段階での評価がつき、D以上の評価を受けた学生はその教科目の単位が認定されます。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 進級への単位規定は設けてありませんが、1年次の取得単位数が著しく不足している場合には、進級にあたり今後の学習の方針・姿勢についてカウンセリングを受け、1年次からの再履修を指導される場合があります。 デザイン専門課程：108単位以上の習得	
学修支援等	
（概要） （学費面）入学時に特待生試験を実施、学内規定A～Eの5段階で評価し、評価A～Dに対して1年次授業料を減免します。評価A：90万円減免、評価B：45万円減免、評価C：10万円減免、評価D：5万円減免となります。 （カウンセリング）学生の生活面や人間関係等の相談の場としてスクールカウンセラーを設置しています。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	11人 (73.3%)	4人 (26.7%)
（主な就職、業界等） 一般建築設計事務所の意匠設計・建築会社。戸建て住宅メーカーの建築設計、ショップデザイン会社のデザイナー、施工管理、ステージ制作会社の施工管理等。			

<p>(就職指導内容)</p> <p>個別指導を中心として、自己の強みの発見、履歴書やエントリーシート作成支援、適性求人との紹介と斡旋、面接対策等。適宜、企業招致の会社説明会を実施しています。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>1級建築士、2級建築士、木造建築士、1級建築施工管理技士、2級建築施工管理技士等。毎年企業連携の成果として店舗の設計・施工に携わっています。</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	2人	11.7%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>大学への編入学や留学等の進路変更です。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>少人数を活かして学生との面談機会を頻繁にとるように心がけています。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
グラフィックデザイン 学科	170,000 円	900,000 円	292,000 円	選考料、施設費、教育充実 費、学生損害保険料
イラストレーション 学科	170,000 円	900,000 円	292,000 円	同上
インテリアデザイン 学科	170,000 円	900,000 円	292,000 円	同上
フィギュアデザイン 学科	170,000 円	900,000 円	292,000 円	同上
マンガ 学科	170,000 円	900,000 円	292,000 円	同上
映像デザイン 学科	170,000 円	900,000 円	292,000 円	同上
プロダクトデザイン 学科	170,000 円	900,000 円	292,000 円	同上
ファッションデザイン 学科	170,000 円	900,000 円	292,000 円	同上
コミックイラスト 学科	170,000 円	900,000 円	292,000 円	同上
デザイン研究科	170,000 円	900,000 円	292,000 円	同上
建築デザイン 学科	170,000 円	900,000 円	292,000 円	同上
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 URL https://www.tdg.ac.jp/common/pdf/tdg_Selfassessment.pdf
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 教育目標に従った人材育成ができてきているか、その教育目標を学科の指針として具体的に展開できているかについて関係業界、卒業生と対象として自己評価の結果にそって説明する事で、教育目標、教育方法や内容、管理体制を評価いただく。学校はその評価に基づき、幹部会議(執行委員会)で改善策をまとめ、優先順位を付けて予算化し、改善プランを策定後、学校長の許可を得て実行する。これを学校関係者評価の基本方針とする。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
有限会社藤原アイアン・クラフト	2023年4月1日～2025年3月31日	企業及び関係団体・有識者代表
一般社団法人 東京建築士会	2023年4月1日～2025年3月31日	企業及び関係団体・有識者代表
公益財団法人 画像情報教育振興協会（CG-ARTS協会）	2023年4月1日～2025年3月31日	企業及び関係団体・有識者代表
有限会社藤原アイアン・クラフト	2023年4月1日～2025年3月31日	企業及び関係団体・有識者代表
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ホームページで公表 URL https://www.tdg.ac.jp/common/pdf/tdg_Hyouka.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ホームページで公表 URL http://www.tdg.ac.jp

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113310100081
学校名 (〇〇大学 等)	専門学校東京デザイナー・アカデミー
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 21世紀アカデミア

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		97人	81人	97人
内訳	第Ⅰ区分	66人	52人	
	第Ⅱ区分	14人	19人	
	第Ⅲ区分	17人	-	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				97人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	-
----	---

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	-
計		0人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

年間	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
		0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		-	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。